



広報うえだ

No.189 2.1
平成26年



ふれんず武石児童館 どんど焼き

目次

- 2 ごみ減量・再資源化にご協力を！
- 5 市・県民税、所得税の確定申告
- 6 新春座談会 文化の薫るまちづくりに向けて
- 10 2014シリーズ文化講演会
- 11 山本鼎記念館閉館特別展
- 12 情報ピックアップ
- 14 情報ア・ラ・カルト

- 19 上田のお宝発見！
- 21 情熱地域
- 22 施設イベント
- 24 四ツ葉スケッチ
- 26 平成26年上田市成人式
- 28 読者通信

平成26年2月1日号(毎月1日・16日発行)

発行 上田市 〒386-8601長野県上田市大手1-11-16
編集 総務部広報情報課 TEL0268・22・4100 FAX0268・23・5241

上田市役所

検索



表紙の説明は14ページ

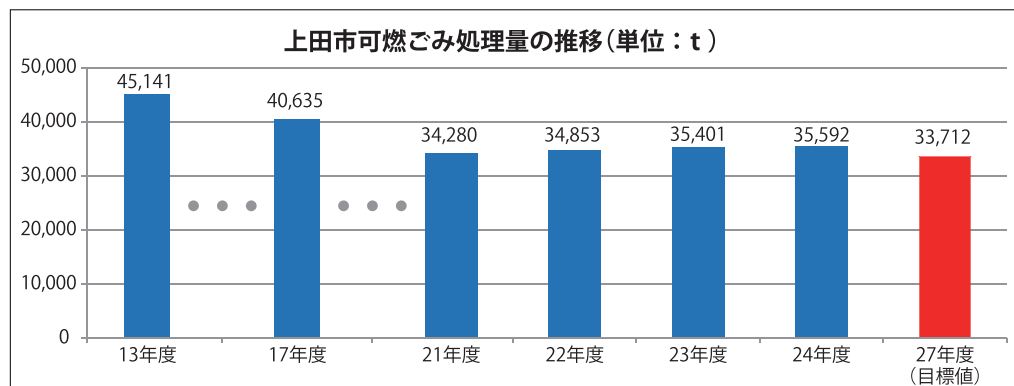
ごみの減量・再資源化にご協力を！

『燃やされているごみを減らす2つの取組』

市では資源循環型社会を目指し、ごみの減量・再資源化に取り組んでいます。日頃から市民の皆さんには、ごみの分別にご協力いただいておりますが、資源の有効利用や地球温暖化防止対策などを進めるため、新たに可燃ごみの減量を目指した取組を実施します。

可燃ごみの処理量と今後の目標

毎日の生活で排出される可燃ごみは、市民や事業所の皆様のご協力により、平成13年度と比較して約1万^{トン}t減少しています。しかし、平成22年度からは増加傾向となっています。



上田地域広域連合では「ごみ処理広域化計画」を策定し、可燃ごみ処理量の目標値を定めています。この計画では、上田市の平成27年度の目標値を33,712 tとしていることから、平成24年度の処理量よりも約2,000 tの減量が必要となります。

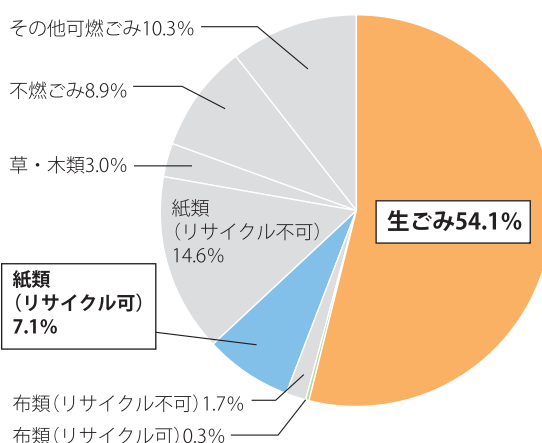
家庭から出された可燃ごみの内訳

上田クリーンセンターの ごみ組成分析(家庭系)の結果

実施時期 平成25年6月

調査対象 上田クリーンセンターに
運びこまれた家庭系可燃
ごみ

上田クリーンセンターに運びこまれた家庭系可燃ごみの内訳を調査した結果、「生ごみ」が54.1%で最も多く、「リサイクル可能な紙類」も7.1%含まれていることが分かりました。



可燃ごみの減量に向けた新たな取組

ごみ減量化は、ごみ焼却による二酸化炭素排出量の削減など環境負荷の軽減につながることから、これまで「ごみの分別による資源物回収」や「有料指定袋の導入」などに取り組んできています。今後は、平成27年度の可燃ごみ処理量の目標値を達成するため、新たな取組として生ごみ減量化に向けた「通風乾燥型生ごみ処理機」の公開実験と「雑がみ回収袋」の導入を行います。

現状の取組

分別による資源回収、有料指定袋の導入、事業系紙ごみの搬入規制
生ごみ堆肥化の促進、^{せんてい}剪定木の資源化の促進など

新たな取組

生ごみの減量化(「通風乾燥型生ごみ処理機」の公開実験)
分別回収の徹底(「雑がみ回収袋」の導入)

新たな取組①

「通風乾燥型生ごみ処理機」の公開実験

～「通風乾燥型生ごみ処理機」を利用した「生ごみ」の減量公開実験を行います～

生ごみの大半は水分です。家庭でのひと工夫で重さを10%程度減量できるとされています。

生ごみは、可燃ごみとして出す前に「水切り」することで減量できますが、市販されている「生ごみの減量化機器」を活用することによりさらに減量ができます。今回は生ごみの減量化機器のうち、「通風乾燥型生ごみ処理機」の減量効果や使用中の音や臭いなどを体感してもらうため、公開実験を行います。大勢の皆さんのご来場をお待ちしています。
※土日祝日は実験のみ実施し、公開はしません。

公開実験の実施内容

- 日時 2月4日(火)～14日(金)の平日
午前9時～午後5時(4日(火)のみ午後6時)
- 場所 福祉会館1階(市役所斜め向かい側)

実験内容

①「通風乾燥型生ごみ処理機」の減量効果測定

4台の機器を運転し、乾燥時間を「6時間」、「8時間」、「10時間」、「12時間」として測定します。「生ごみ」の重さは一定で行います。時間ごとの重さや容器内でのかさの変化を測定します(4台は時間差で運転を開始します)。

また、機器本体の大きさ、音、臭いなどを体感いただけます。

②保管試験の実施

実験期間中に乾燥させた「生ごみ」は、実験翌日から期間終了まで展示します。公開実験の2日目以降は乾燥した「生ごみ」の状況が確認できますので、臭いなどを体感いただけます。

「通風乾燥型生ごみ処理機」とは

風の力により「生ごみ」の水分を減少させる乾燥機です。公開実験では、市販されている機器を利用します。

(今回実験に使用する機器は、実勢価格18,000円程度で市販されています)



通風乾燥型生ごみ処理機

福祉会館会場	2月 4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)	8日(土)	9日(日)	10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)
実験の公開	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
「通風乾燥型生ごみ処理機」の減量効果測定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保管試験		←									→

パネル展示の実施

公開実験と関連し、過去に同じ機器で実験した結果や、市で今後行う可燃ごみの減量化施策についてパネル展示を行います。

- ①市役所本庁舎 ●日時 2月4日(火)～28日(金)の平日 午前8時30分～午後5時15分
●場所 1階エレベーター前
- ②福祉会館 上記公開実験と同時開催

「新たな取組②」は次ページをご覧ください。

ごみ減量化機器等購入補助金をご活用ください。

実験に使用する「通風乾燥型生ごみ処理機」以外にも生ごみを乾燥、堆肥化する機器などが市販されています。市では、購入費に対して次のとおり補助金を交付していますのでご利用ください。

種 類	補 助 率	補 助 限 度 額
堆肥化容器(コンポスト・密閉容器など)	購入費の1/2	1台につき3,000円
生ごみ処理機(乾燥式・バイオ式など)		1台につき30,000円
生ごみ堆肥化基材(ぱっくん)※		20ℓ(1袋)につき200円

※販売はエコ・ハウス(上田クリーンセンター内 TEL23・5144)

問 市 廃棄物対策課 TEL22・0666 丸 市民生活課 TEL42・1054
 市 市民生活課 TEL72・0154 武 市民生活課 TEL85・2827

新たな取組② 「雑がみ回収袋」の導入

家庭から出された可燃ごみには、資源にできる紙類も多く含まれています。特に雑がみ類が多く、これを分別して資源物として出すことで可燃ごみを減量することができます。そこで、家庭での分別が行いやすくなるように「雑がみ回収袋」を新たに導入します。

「雑がみ回収袋」の利用方法

「雑がみ回収袋」には雑がみ全般を入れることができますが、特に束ねづらく可燃ごみになりがちな小さなものを集めるのに便利です。

雑がみの出し方

4月からは次の3つの方法で資源物回収所に出すことができます。

- ①ひもで束ねる(十文字に縛る)
- ②「雑がみ回収袋」の利用(ひもで口を閉じる)
- ③紙袋や封筒の利用(ひもで口を閉じる)

※丸子地域では、小さな紙類、束ねづらい紙類のネット回収も引き続き行います。

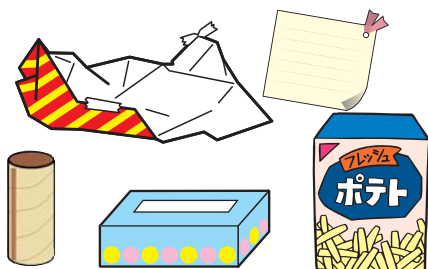
配布方法

「雑がみ回収袋」は4月以降に各自治会を通して配布しますのでご利用ください。

雑がみとは

新聞、折込チラシ、ダンボール、雑誌、紙パック以外の資源化可能な紙類のことです。

例えば、トイレットペーパーの芯、小さな菓子類の箱、封筒、メモ用紙、ティッシュの箱などです。



「雑がみ回収袋」のイメージ



市・県民税、所得税の申告期間は 2月17日月～3月17日月です

市・県民税、所得税および復興特別所得税の申告が始まります。申告は適正な課税のための大切な手続きですので、忘れずに申告しましょう。

○**申告相談・受付期間**(市・県民税、所得税および復興特別所得税共通) 2月17日月～3月17日月(土・日曜日を除く)

○**申告相談・申告受付場所** 上田市民会館、丸子・真田・武石地域自治センター、その他出張会場

詳細は、各世帯に配布しました「平成26年度 市・県民税申告の手引」をご覧ください。

◆平成26年度市・県民税の申告

1月1日(賦課期日)現在、市内にお住まいの方は、市・県民税の申告が必要です。

ただし、次に該当する方は、原則申告の必要はありません。

○確定申告書を提出される方

○給与所得のみの方で、勤務先から上田市へ給与支払報告書の提出がある方

確定申告が不要でも市・県民税の申告が必要になる場合があります。詳細は「平成26年度 市・県民税申告の手引」をご覧ください。お問い合わせください。

市・県民税の申告をされなかった場合、消費税率引き上げに際して予定されている「臨時福祉給付金」の手続きにおいて不利益を受けることがあります。収入がない場合にも、必ず申告をお願いします。

◆市・県民税の申告で医療費控除などをお忘れなく

すでに所得税および復興特別所得税の申告を済ませ、税額が0円であった方でも、控除額が異なるために市・県民税は課税になることがあります。この場合でも、医療費控除や社会保険料控除、扶養控除や寡婦(夫)控除などの申告により、市・県民税を軽減できる場合があります。

☎ 税務課 TEL23・5115

◆平成25年分所得税・復興特別所得税の確定申告

○申告しなければならない方

- ①営業・農業・不動産所得などの所得合計額が各種控除合計額を超える方
- ②給与の年収が2,000万円を超える方
- ③給与所得者で給与以外の所得が20万円を超える方
- ④2か所以上から給与があり、給与以外の所得と、年末調整されなかった給与の収入額が合計で20万円を超える方など

※還付申告をする場合は、給与以外の所得の合計額が20万円以下であっても、それら全部を含めて計算しなければなりません。

○申告すると給与や年金などから源泉徴収された所得税および復興特別所得税が還付される可能性のある方

- ①マイホームを住宅ローンなどで取得した方
- ②多額の医療費を支払った方
- ③災害、盗難などにあった方
- ④年の途中で退職し再就職していない方など

○申告時の必要書類

源泉徴収票(原本)、印鑑

領収書や証明書など、本人名義の預金口座の分かるもの

○復興特別所得税について

平成25年分から平成49年分までの各年分については、所得税と併せて復興特別所得税の申告および納付をすることとされています。復興特別所得税の額は、各年分の基準所得税額(原則としてその年分の所得税額)に2.1%の税率を掛けて計算した金額です。

○公的年金などを受給している方へ

公的年金などの収入合計額が400万円以下で、かつ、公的年金などに係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には所得税および復興特別所得税の確定申告は不要です。

※医療費控除や社会保険料控除、扶養控除や配偶者控除などを含めた市・県民税の申告は必要です。

◆年金事務所などから送付される「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」の提出はお済みですか？

「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」は毎年10月下旬から11月上旬までに年金事務所などから送付され、12月上旬に提出するものです。扶養者がいない場合や控除がない場合、昨年と変わらない場合であっても提出が必要です(加入している年金制度により送付の条件や時期は異なります)。年金事務所などへの提出を忘れた場合などは配偶者、扶養、障害、寡婦(夫)などの控除が反映されず所得税が課税されている場合がありますが、確定申告をすることで納めすぎた所得税が還付されます。

◆税理士無料申告相談と記帳・青色相談コーナー

	税理士無料申告相談会		記帳・青色相談コーナー	
期日	2月17日月 ～3月13日(木) (土日を除く)	3月3日月 ～13日(木) (土日を除く)	3月3日月 ～7日(金)	2月24日月 ～28日(金)
時間	午前9時～正午 午後1時～4時		午前10時～11時30分 午後1時30分～3時	
場所	上田市民会館 (市・県民税申告会場に併設)		上田市民会館 (市・県民税申告会場に併設)	上田税務署
対象	小規模事業所得者(消費税申告を含む)、給与所得者および年金受給者などで、譲渡所得のある方を除く。			

☎ 上田税務署 TEL22・1234



ホール事業アドバイザー
佐田 繁理底

参与兼プロデューサー
津村 卓氏

上田市長
母袋 創一

新春座談会 文化の薫るまちづくりに向けて 交流文化芸術センター・市立美術館の オープンに期待を寄せて

いよいよ10月2日、待望の交流文化芸術センター・市立美術館がオープンします。今回、専門的な立場からご指導いただいている、市の参与兼プロデューサーの津村卓さん、ホール事業アドバイザーの佐田繁理底さんのお二人をお迎えし、「文化の薫る創造都市」の実現に向けた思いを語っていただきました。

交流文化芸術センター・市立美術館の開館に向けて

市長 日頃からお二人には交流文化施設の整備で大変お世話になっております。

津村さんには、昨年10月から、市の参与兼プロデューサーとして、開館に向けて、より精力的にご尽力いただいています。将来的には館長もお願いできるということで、私たちが大変うれしく思っています。

津村 滋賀県の琵琶湖ホールや、まつもと市民芸術館の立ち上げなど、30年いろいろなホールを開館・運営させていただき、今は福岡の北九州芸術劇場を立ち上げ、館長をしています。

「文化」は一部の人が趣味で楽しむだけでなく、国としても重要な役割を担っています。その中で、10月には上田にもホールができ、新しい文化をどのように作っていくかというところになっていきます。いい形でオープニングが

できればと思っています。

市長 次に佐田さんです。開館のこけら落とし事業を始めとする各種事業について、豊富な経験や人脈を活かしてご指導、ご尽力をいただきたいと思っています。こけら落としは、交流文化芸術センターのスタートにふさわしい催しを予定し、その後の事業展開も考えているところです。

佐田 この施設が計画段階の平成20年からお世話になり、現在はホール事業アドバイザーとして参加しています。これから行う事業の中身、演技・演舞する方のご助力ができるよう、また、市民の皆さんに良いものをお見せできるように進めてまいります。市民の皆さんが期待しているようなタレントなど、いろんな方を呼びたいと思います。

ホールを中心とした施設の特徴

市長 平成24年8月に着工した施設の建設工事は、おおむね今年の5月頃には終了し、そ

の後は周辺の外構工事に移っていく状況です。

佐田 途中で天井の構造基準が変わり、大変だったと聞きました。

市長 東日本大震災が起きて天井構造基準が厳しくなりました。昨年国から示された耐震基準は市の設計を上回る高い基準だったため、見直しをして予算も追加計上いたしました。安全面を高めたものが一番と、強い地震にも耐えられるよう対応してきたところです。

津村 震災の時には多くのホールの天井が落ちました。その様子を見ると、やはりきちんとしたものを作らなければと思います。

市長 さて、大ホールですが、固定席が1530席、可動席や立見席も入れて1650人まで収容可能です。緑色を基調とした横縞の椅子は、深々として座り心地も良く大変気に入りました。壁板は音響効果をより高め、豊かな響きをもたらせるように、重量感の



大ホール・小ホール客席イス

あるカラマツをランダムに組み合わせたものを配置しました。カラマツは市内の市有林から切り出した間伐材を使用し、地産地消にも配慮しています。

小ホールは、音楽ホールに劇場機能を織り込んだ特徴あるデザインです。ここにも地元産の木が使われています。壁の色は少し濃い茶系で、椅子は赤色です。ピアノもありますので、コーラスの発表、アンサンブルコンサートなど、多目的なコンサートホールとしてお使いいただけます。

津村 演奏家の指使いや役者の飛び散る汗を、とても身近に感じることできる締まった空間だと思います。

市長 傾斜のある一階席のみでなく、二階席はバルコニースタイルで、いろんな視点から演技者の動作を見られますし、照明や音響効果も工夫されています。

次に大スタジオですが、リハールを本番と同じようにできるように、大ホールの舞台と同じ広さを用意しています。また、舞台芸術の練習発表にも利用する目的で設計いたしました。これは津村さんにアドバイスをいただいたもので、大スタジオに舞台設備を整えました。

津村 最初はリハール室とのことでしたが、加えてお芝居やパフォーマンスなどの発表の場としました。プロの方だけではなく、市民の方が時間をかけて作品を作っていく空間として有効利用できるように、設備を劇場仕様のものにしていただきました。

今後のホール事業の展開

市長 ホール事業の一番の課題はどのように事業展開をしていくのかということです。

昨年6月に、どんなアーティストを呼んでもらいたいか市民の皆さんに意向調査を行いました。上位には「劇団四季」、「さだまさし」さ

ん、「辻井伸行」さん、「宝塚歌劇団」、「NHK交響楽団」など、ジャンルも様々で、皆さんが広い範囲の多種多様なアーティストを呼んでほしいと願っていることを感じました。

津村 ホールはこのような公演やコンサートを行う場所であり、見て感動して楽しんでいただくことが一番ですが、市民の皆さんにはお客さんというだけではなく、いろいろな形で参加していただきたいと思っています。例えば、市民参加で何かを作ったり、ボランティアで参加

することもあると思います。また、小学校や施設などにアーティストをお呼びし、すぐく身近に接して、アートを感じていただくことも重要です。

ホールと同時に上田市という街が活性化していくことを一つの大きな目標として、進めていければ良いと思います。



建設が進む交流文化芸術センター(上写真)と市立美術館(右写真)



佐田 上田がよいところだというのをアーティストにプレゼンテーションしてお越しいただき、市民の皆さんに対していいパフォーマンスをしていただければ一番良いと思います。施設が素晴らしいと思えば、必ず戻ってきてくれますし、その繰り返しですが、こけらを落とした後の展開に繋がります。市民の皆さんの共感をいただけるようなアーティストによる催しを行ってまいります。

上田は新幹線を使えば東京からも日帰りができる距離で

すから、東京のお客さんも来られるような発信をしていきたいと思っています。津村さんとお話して、日本各地で予選会を開催し上田で本選を行うなど、全国から人が集まりこのホールでしかできないことを、じっくりと作りたいと考えています。

市長 職員を含め、私たちはこういう大きな体験は初めてであり、未知の分野です。皆さんのような先人、プロのお力をお借りして、私たちも総力で対応していきたいと思っています。

「育成」を理念にした美術館

市長 もう一つの特徴的な部分、美術館についてお話を伺います。

美術館のオープン時には、山本鼎、石井鶴三、そしてハリ・K・シゲタという、上田にゆかりのある作家を中心に常設展示を行います。

山本鼎が提唱してきた自由画教育運動の精神を大切にしようという思いから、「育成」を理念とする館の柱ができてきました。その象徴となる施設として、この美術館には全国でも珍しい「子どもアトリエ」を設け、この施設を中心にした子どもの育成事業の展開についても、期待しているところですよ。

佐田 現在建設中の施設の仮囲いにも子どもたちの絵を展示しているようですね。

市長 300mに渡って保育園・幼稚園児から高校生まで、工事用の仮囲いを利用して絵を展示しています。上田染谷丘高等学校美術班には、四季をテーマに壁画を制作していただきました。

佐田 すでに市民参加型になっていますね。

市長 「育成」ということから、どんどん若い人たちに参加し

てもらい、その勢いを感じていきたいと思っています。

津村 ミニ・ミュージアムも設けられ、ワークショップも開催されているとのことですよ。

市長 地元の美術関係者により、開館に向け様々な展開をしていただいています。また、歴史的に続いてきた地元の農民美術を、ミニ・ミュージアムで子どもたちに教えていただいています。

「子どもアトリエ」の展開

市長 美術館の大きな特徴は子どもアトリエで、先進施設である横浜美術館に市の職員2名を1か月ずつ派遣して、運営ノウハウの習得をしているところですよ。将来を担う子どもたちに、いい環境を与えることで、感性も育まれていくという理念を持っています。

津村 今、特に子どもたちに必要なのは想像力で、感性を育むうえで子どもアトリエは重要な役割を担うと思います。ホールも同じですが、上田に來られた方がぜひ美術館を訪れたいと思えるように、子どもの時から触れ

親しんでいただく環境作りがとても重要だと思います。

市長 多くの方に愛され、何よりも来ていただけるように魅力度を高める努力を、ホールと併せてしていきたいと思っています。

施設を拠点としたまちづくり

市長 施設においては、ホール・美術館の他に交流施設、直径100mの芝生広場も準備しており、複合施設としてかなり特徴的であると思っています。

施設が融合して、あるいは機能的な連携を図る中で特徴が出せれば、上田からの発信

ということでも面白いのではないかと考えています。特に、私たちはこの施設をまちづくりに広く影響させたい、そういう野心もあります。

佐田 人が集まることを大前提として、上田の中をもっと楽しめることを、ここから広げていけば良いと思います。

また、複合施設ということですが、美術館・コンサート会場・スタジオ・そして真ん中に100mの芝生広場がある、このような施設を全国でもいまだかつて見たことがありません。ものすごく素晴らしい、また夢のある施設です。

津村 施設の中から生まれた作



若手アーティストと子どもたちの共同創作



上田染谷丘高等学校美術班制作の大壁画



芸術家ふれあい事業学校訪問

品が街の中に残り、既存の商店街などと一緒に取り組んで何をやっていくのかが重要です。例えば、商店街と一緒に取り組む中から、上田の歴史や伝統をベースにした新しい上田のものづくりが生まれる可能性もあると思います。新しい上田の文化が生まれ、全国から関わりたい方が集まり参加する、ということが起こってくると思いますし、全国でもそういった機運が高まっています。ここは単なるホールと美術館と広場がある場所ではなくて、上田はもとより信州全体の文化の拠点として、いろいろなことが試さ



子どもたちが 自ら楽しめる 活動を提供

横浜美術館 やまざきゆう 山崎優さん



横浜美術館では、展覧会を見るだけではなく、自ら作ったり調べたりといった能動的な鑑賞ができるよう、いろいろな機能を備えています。

とりわけ「子どものアトリエ」では、子どもたちが描いたり作ったりと体験する中で「自分でするって楽しい」と思ったり、自信につながるような活動の提供を心がけ、やり方で何かを教えるのではなく、造形の活動でモノの仕組みを教えて、子どもたちがそれを知ること、今度は自分で組み合わせ、考え、工夫して行動できるようなプログラムを構成しています。

また、子どもが対象のため「けがをさせないこと」、みじめな気持ちや不安な気持ちといった「心のけがをさせないこと」を非常に大事に考えて取り組んでいます。苦手意識のある子どもたちでも、思わずやってみてその結果楽しかったと思えるように、場の空気作り・雰囲気作りにも細心の注意を払っています。

設立から25年が経ち、当時、子どもだった方が大人になって自分の子どもを連れてきてくれます。市民の皆さんの生活の一部になり時代も一巡した感じます。



津村 見に来ていただくこともありがたいし、ぜひ来ていただきたいと思うのですが、これから発信されていくいろんな事業を、しっかりキャッチして自分たちの生活に利用し、一緒に施設の運営を考えていただければと思います。

津村 市民の方々の誇りになる施設にしていきたいですね。

佐田 市民の方のためにできたものなので、一緒に参加していろんな意見をお寄せいただければと思います。

市長 市民の皆さんがこの施設に協力して参加していただければいただくほど、一人一人の充実感や幸せ感、満足感が増してくると思うのです。健全な精神の中で人が成長し、あるいは生きがいにつながっていくことを信じます。

また、市全体からすれば、この拠点施設と既存の丸子・真田・武石の施設との連携、あるいは役割分担の仕方も大事だと思います。

市長 市民の皆さんがこの施設に協力して参加していただければいただくほど、一人一人の充実感や幸せ感、満足感が増してくると思うのです。健全な精神の中で人が成長し、あるいは生きがいにつながっていくことを信じます。

また、2019年ラグビーワールドカップの開催、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まりました。そのようなことも視野に入れつつ、上田の魅力を発信することが大切で、この施設を拠点として、「文化」はもちろん「人」さらには「まち」を育むよう、「育成」の理念のもと取り組んでいきたいと思っています。上田が変わる、上田を変えるチャンスでもあると思っています。

今年を「文化創造元年」と位置づけ、職員も一丸となって取り組んでまいります。

市長 いろいろお聞きしてきましたが、最後にメッセージを一言お願いします。

佐田 市民の方のためにできたものなので、一緒に参加していろんな意見をお寄せいただければと思います。

佐田 大きな文化施設は、長野や松本にもありますが、これから始まる上田は逆に周りから勉強できるわけですから、何か一つ取り入れながら発展していければ、文化の発信の中心になれると思います。

あとは、当然のことながら市民が参加することです。この施設は計画段階からずっ

と市民参加型でやってきました。普通は、ある程度行政の方々が決めたものを市民にお渡しするのですけれど、今回はずっと市民がいっぱいやる。そうやってガラス張りです。ここまで来たので、市民の皆さんにも一緒に参加してほしいです。

市民へのメッセージ



2014シリーズ 文化講演会

今各界で活躍されている3人の講師をお迎えし、「心」をテーマに開催します。ぜひご来場ください。
(入場料無料、申込不要)

第1回

- 日時** 2月15日(土)午後1時30分～3時(開場1時)
- 場所** 丸子文化会館
- テーマ** されど、人生これから
- 講師** よしかわせいいち 吉川精一氏(元NHKアナウンサー)
- 略歴** 東京都出身。早稲田大学文学部演劇専修を卒業後、NHKにアナウンサーとして入局。『のど自慢』や『紅白歌合戦』など、人気番組の司会を数多く担当し、看板アナウンサーとして活躍。57歳で定年退職後、新たな人生への出発として、少年時代からの夢であった演歌歌手デビューを果たす。現在はテレビ・ラジオに出演するほか、講演会講師、演歌歌手として全国各地で精力的に活動している。

定員 800名
問 丸 教育事務所 TEL42・3147



吉川精一氏



中村ブン氏

- 日時** 3月8日(土)午後1時30分～3時15分(開場1時)
- 場所** 上田文化会館
- テーマ** 中村ブン☆コンサート あした元気になあれ!
- 講師** 中村ブン氏(シンガーソングライター)
- 略歴** 福島県白河市出身。テレビドラマ『柔道一直線』でデビュー後、『太陽にほえろ』『たんぼぼ』など多数出演。一方で、「人間愛」をテーマとして作詞・作曲したオリジナル曲『かあさんの下駄』が大反響を呼び、シンガーソングライターとしての地位を固める。現在は、21世紀を担う若者たちやその親に、愛とやさしさにあふれた歌のメッセージを贈り、温かい感動の輪を全国に広げている。

定員 500名
問 市 文化振興課 TEL23・6361

第2回

第3回

- 日時** 3月23日(日)午後1時30分～3時(開場1時)
- 場所** 真田中央公民館
- テーマ** いのちの感受性
- 講師** おちあいけいこ 落合恵子氏(作家・クレヨンハウス主宰)
- 略歴** 栃木県宇都宮市出身。明治大学英米文学科卒業後、(株)文化放送にアナウンサーとして入社。ゆったりとした口調とその優しさで幅広い年齢層から人気を得る。退社後、作家活動に入り、総合幼児保育雑誌『月刊クーヨン』ほか、絵本や育児などの単行本を出版。執筆活動だけでなく、子どもの本の専門店「クレヨンハウス」を主宰するなど多方面で活躍中。

定員 400名
問 自 教育事務所 TEL72・2655



落合恵子氏

山本鼎記念館閉館特別展 「ありがとう！ 山本鼎記念館」

50年以上にわたって、多くの方々に親しまれてきた山本鼎^{かみ}記念館は、今年秋に完成する上田市立美術館の開館に伴い、その幕を下ろすことになりました。

長い歴史に多くの方々が思いを馳せていただけることを願い、山本鼎記念館閉館特別展「ありがとう！山本鼎記念館」を開催します。

今展では、山本鼎の業績の一つである意匠(デザイン)を紹介し、児童自由画運動と農民美術運動という二つの運動の歴史を振り返ります。

また、現代の農民美術作家の作品と、開館以来、運営の柱であった美術教室の平成25年度受講生の皆さんの作品を展示します。

○山本鼎記念館閉館特別展「ありがとう！山本鼎記念館」

- 期 日** 2月6日(休)～3月25日(火)(休館日：毎週水曜日、2月13日(休))
- 時 間** 午前8時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 場 所** 山本鼎記念館
- 観覧料** 一般250円、高校・大学生180円、小中学生60円
※市内在住の高校生以下は無料、団体・障がい者割引あり

農民美術「土ひねり人形」(第三部)

展覧会内容

○第一部 「山本鼎と意匠」

個人コレクターから寄贈された初版本などの貴重な書籍を中心に展示し、山本鼎のデザインの魅力や理想、農民美術や自由画教育との関係を紹介します。

○第二部 「山本鼎と児童自由画運動」

児童自由画運動発祥の地である神川小学校で収蔵されている児童の作品を中心に展示し、山本鼎の求める自由画とはどのようなものであったかを紹介します。

○第三部 「山本鼎と農民美術運動」

農民美術のデザインの変遷を紹介します。運動初期のヨーロッパ的なデザインから、製作者の個性や地域性が表現された作品へと変化していく様子をご覧ください。

○第四部 「現代の農民美術」 現在活躍している農民美術作家の作品を紹介します。

○第五部 「山本鼎版画大賞展」受賞作品

平成11年から3年ごとに開催している山本鼎版画大賞展の第1回から第5回までの大賞・準大賞受賞作15作品を展示します。

○第六部 「山本鼎記念館と美術教室」

美術教室と子どもアート教室受講生による作品を展示します(第六部のみの観覧無料)。

期間/内容

期 間	内 容
2月7日(金)～11日(火)	洋画A教室(初心者対象)
2月14日(金)～18日(火)	洋画B教室(経験者対象)
2月21日(金)～25日(火)	版画教室(初心者と経験者)
2月28日(金)～3月4日(火)	木彫教室(初心者と経験者)
3月9日(日)～25日(火)	子どもアート教室(絵画、木彫)

時 間 午前9時～午後4時30分、各展覧会最終日は午後3時まで。



山本鼎『婦人之友』3月号表紙
(第一部)

お知らせ

問 市 交流文化芸術センター TEL23・5219

交流文化芸術センター・市立美術館

利用申込説明会を開催

交流文化芸術センター、市立美術館の利用申込説明会を開催します。利用予定者はご参加ください。

◇利用申込説明会

日時/場所

日 時	場 所
2月11日(火・祝)午後6時～	上田市民会館 2階大会議室
2月14日(金)午後7時～	丸子文化会館大会議室
2月20日(木)午後7時～	中央公民館 3階大会議室

◇利用申込受付

開始日時 3月1日(土)午前9時～正午

場 所 上田市民会館 1階第1・2会議室

対象期間 12月～平成27年4月(自主事業などの予定日を除く。平成27年5月以降分は、4月1日から順次受付)

申込方法 詳細は利用者説明会、およびホームページなどでお知らせ

募集

交流文化芸術センター・市立美術館開館記念事業

開館を市民の皆さんとともに祝う事業の募集

市民の皆さんが企画する事業を「開館記念事業」として募集しています。詳細は、問い合わせください。

支援内容は、「開館記念事業」の冠を付与、会場使用料などの減免、広報支援、スタッフによる運営支援などです。

◇募集概要

	募集期間	事業実施期間
第1期	～2月20日(木)	12月～平成27年6月
第2期	4月1日(火)～5月16日(金)	平成27年7月～12月

応募方法 「上田市交流文化芸術センター・市立美術館開館記念事業企画提案書」(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入し、郵送、または直接持参。

対象事業 一般市民を対象に、多くの市民が参加する、文化芸術事業、大会、シンポジウム、学会など(政治・宗教などを目的とするものなどは除く)。

応募資格 市民、または市民を主体に組織される団体

事業の決定 申請書提出後、審査の上決定(第1期は3月を予定)

応募先 〒386-8601 (住所不要) 上田市交流文化芸術センター宛

催し

3月8日は国際女性デー

上小地区記念集會を開催

日 時 3月8日(土)午後1時30分～4時

場 所 市民プラザ・ゆう

内 容 オープニングアトラクション、講演会「あなたが65歳以上になったとき、暮らしはどうなる?～社会保障と女性の低年金～」
／唐鎌直義氏(立命館大学教授)、質疑応答

参加費 無料

その他 託児希望の方は2月28日(金)までに、電話で下記へ。なお、手話通訳もあります。

問 市 人権男女共同参画課 TEL23・5245



唐鎌直義氏

市 上田市役所 TEL.22・4100(代) FAX.25・4100(代)

丸 丸子地域自治センター TEL.42・3100(代) FAX.43・3666(代)

真 真田地域自治センター TEL.72・2200(代) FAX.72・4140(代)

武 武石地域自治センター TEL.85・2311(代) FAX.85・2313(代)

お知らせ

原付・(軽)自動車の廃車・名変手続きはお早めに

4月1日現在の所有者(名義人)に課税されます

軽自動車税および自動車税は、毎年4月1日現在で車検証などに記載されている名義人に課税されます。既に車両を手放している場合でも、廃車や名義変更などの手続きを行わないと引き続き課税されます。

手続き(車種/窓口)

車 種	窓 口
①原付バイク・小型特殊自動車	税務課および各地域自治センター
②125ccを超え250ccまでのバイク	軽自動車協会(Tel026・243・1967)
③250ccを超えるバイク・普通自動車	長野運輸支局(Tel050・5540・2042)
④軽自動車	軽自動車検査協会(Tel026・244・4563)

※②～④は、長野県自家用自動車協会上小支部(Tel22・0595)、依田窪支部(Tel42・2758)でも手続き可

問 軽自動車税/市 税務課 TEL23・5169

自動車税/上小地方事務所税務課 TEL25・7117

お知らせ

平成26年度までの建設工事など

入札(見積)参加資格申請の中間受付

平成26年度に市が発注する建設工事、建設コンサルタント業務、森林整備業務の入札(見積)参加希望者は、「入札(見積)参加資格審査申請書」(契約検査課、または市ホームページからダウンロード可)を提出してください。平成25・26年度入札(見積)参加資格申請済みの方は、今回の申請は不要です。なお、物品入札(見積)参加資格申請、および小規模工事・修繕受注希望者登録申請は随時受け付けています。

申込期間 3月3日(月)～14日(金)※郵送の場合は3月15日(土)必着

申込方法 郵送(〒386-8601 住所不要 契約検査課宛)、または直接下記窓口を持参してください。

詳細 入札(見積)参加資格の有効期間は平成26年4月1日～平成27年3月31日です。申込期間中、工種の追加、格付の見直し(客観点のみ)も受け付けます。

問 市 契約検査課 TEL23・5257

募 集

上田勤労者互助会員募集

従業員の福利厚生の実施をお手伝いします

上田勤労者互助会では、中小企業で働く方の福利厚生を充実し、活力あふれる明るい職場づくりのお手伝いをしています。お得な会費でさまざまな特典が受けられます。

会員特典 ①結婚・出産祝い金、ケガ・病気、家の罹災見舞金

②人間ドック、家族旅行(ディズニーランド)の経費を助成

③上田地域の温泉、プール、スキー場など43の施設で利用できる割引券

④国内旅行を会員価格であっせん。

会費 月額300円(別途入会時に100円)

対象 中小企業の従業員・事業主

申し込み 事業所単位で、電話で下記へ。

問 上田勤労者互助会(市 雇用促進室内) TEL24・7363



お知らせ

証明書の発行を一部休止します

2月8日(土)・9日(日)、自動交付機での「住民票の写し」、「印鑑登録証明書」の発行を休止します。なお、上田情報ライブラリー窓口での「所得証明書」、「納税証明書」の発行は可能です。

●設置場所 自動交付機(市役所本庁舎、丸子地域自治センター、上田創造館)、上田情報ライブラリー窓口

問 市市民課 TEL 23・5334
市広報情報課 TEL 23・8241

市有地を売却します

●売却物件 25-2-11/腰越字下川原1588番4(腰越団地跡地)/宅地/1002・62㎡(約303坪)

●申込期間 2月10日(月)～21日(金)

●申込場所 公有財産管理課

●入札日時 2月26日(水)午前9時30分

●入札場所 市役所南庁舎5階

●その他 物件の詳細、入札に関する説明書・申込書は、公有財産管理課にあります(市ホームページでも閲覧可)。なお、現地説明会は実施しませんので、現地の確

お知らせ

認は希望者が行ってください。

問 市公有財産管理課
TEL 23・5114

宝くじ助成事業で整備しました

(公財)長野県市町村振興協会所管の宝くじ助成金で整備しました。

◇山口自治会

区民健康広場に「防球ネット」を整備しました。周囲を気にすることなく、サッカーやグラウンドゴルフ、運動会などに利用することができ、地域活動の活性化につながります。

問 市公園緑地課 TEL 23・5134

◇石舟自治会

「石舟神楽」で使用する神輿や楽器類を整備しました。地域交流の輪が広がり、連帯感を高めることができました。今後、地域の伝統文化の保存と次世代への継承を進めます。

問 市教育事務所 TEL 72・2655



ひとり親家庭の子どもに卒業・入学祝い品を贈呈

市では、今年3月に中学校を卒業、または4月に小学校入学を迎える市内在住のひとり親家庭の子どもに、祝い品(図書券)を贈ります。該当者は、電話で問い合わせください。

●受付期間 2月3日(月)～3月7日(金)

問 市子育て・子育て支援課
TEL 23・5106

交通遺児などへの育成資金貸付・介護料支給

自動車事故により保護者が死亡、または重い後遺障がいになり、かつ、生活困窮世帯のお子さん(0歳から中学校卒業まで)に、育成資金を無利子でお貸ししています。また、自動車事故により、「脳」「脊髄」「胸腹部臓器」を損傷し、重い後遺障がいにな

なった方で、一定の要件に該当する方に介護料を支給しています。

●申し込み 独立行政法人自動車事故対策機構長野支所(TEL 026・480・0521)で、随時受け付けています。

問 市生活環境課 TEL 22・4140

バレンタインにご注意☆サクラサイト110番

インターネットで悪質な有料サイトに誘導する「サクラサイト」と呼ばれる手口の被害が増加しています。このような被害の予防・対応のため、長野県弁護士会による電話相談を実施します(相談無料・予約不要)。

●日時 2月11日(火・祝)午前10時～午後6時
●電話番号 026・217・8477

問 市生活環境課 TEL 22・4140

今月の表紙



ふれんず武石児童館どんど焼き

『1年間健康でみんなが笑顔で過ごせますように』。そんな願いが込められたどんど焼きが1月11日、ふれんず武石児童館で行われました。

集まった約30人の子どもたちは、地域のボランティアの皆さんに指導を受けながらまゆ玉を作ります。庭のやぐらに火がつけられると、自分の作ったまゆ玉を持ち、『この煙にあたりと風邪をひかない』と言われている煙に苦戦しながら焼いていました。

焼きあがったまゆ玉を食べた子どもたちは、1年間健康で笑顔があふれる年になることでしょう。

ようこそ市長室へ

12・1月に訪問された方の中から紹介します。

文部科学大臣表彰受賞報告

塩田中学校 表敬訪問

『平成25年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰』の受賞報告のため、12月25日、塩田中学校関係者が母袋市長を表敬訪問しました。



動画はこちらから

同校は、平成20年から地域ぐるみで学校を支援する「塩田地域学校支援本部運営協議会(「しおだつ子応援団」)を立ち上げ、「学習支援」や「環境整備」など、学校と地域が一体となって子どもたちを育てる組織化がなされ、県内における学校支援本部のモデル的存在としての取組が評価され、今回の受賞となりました。

池田隆校長は、「地域の期待に応えられるよう、より良い学習環境づくりを目指したい」と、今後の抱負を話しました。

市長は、「住民の直接指導により地域と学校の距離を縮め、地域の子が育つことに貢献してくれた」と、お礼を述べました。



動画はこちらから

全国選抜中学校テニス大会出場報告

第五中学校

第4回北信越中学校選抜新人テニス大会兼第2回全国中学校テニス大会・北信越地域予選大会(11月3日開催)で2位となり、第2回全国選抜中学校テニス大会(香川県・1月11日～13日開催)への出場報告のため、1月7日、第五中学校の出場選手5名が母袋市長を表敬訪問しました。



倉島佳那さん(2年)は、「練習の成果を発揮し、一つでも多く勝ちたい」、下島佳乃さん(1年)は、「試合で自分の力を精一杯出し、いい成績を収めたい」と、意気込みを語りました。

市長は、「ベストを尽くして結果を出せるよう、頑張ってください」と、選手を激励しました。



催し

特殊詐欺シンポジウム

- 日時 2月14日(金)午後1時～4時
- 場所 長野バスターミナル会館
- テーマ みんなで防ごう! サギ被害・特殊詐欺被害撲滅へ向けて、我々がすべきこと

●プログラム 報告/県内の特殊詐欺被害の現状・特殊詐欺被害防止への取組状況、講演/細井洋子氏

甲種防火管理再講習会

- 日時 3月7日(金)午後1時30分～
- 場所 丸子ふれあいステーション
- 対象 特定防火対象物(収容人員

問 市 生活環境課 TEL 22・4140

(東洋大学名誉教授)、パネルディスカッション/細井教授、弁護士、関係各団体
詳細 中嶋慎治法律事務所
(TEL 026・217・2872)へ。

問 市 消防予防課 TEL 26・0029
300人以上の建物などの防火管理者のうち、過去5年以内に再講習を受講していない方、または平成20年3月31日以前に資格を取得し、現在特定防火対象物の防火管理者に選任されている方
定員 80名程度
参加費 一般2000円(上小防火管理者協議会員1500円)
申し込み 2月6日(木)午前9時以降、消防予防課、または丸子・東御・真田・依田窪南部消防署窓口へ。

行政書士無料相談会

- 日時 2月22日の行政書士記念日にあわせて開催します(予約不要)。
- 日時 2月22日(土)午前9時～正午
- 場所 中央公民館
- 内容 農地、相続、遺言、成年後見、外国人ビザ、自動車名義変更などの行政手続き
- 詳細 長野県行政書士会上田支部(TEL 25・8720)へ。

問 市 生活環境課 TEL 22・4140

- 問** 市市民課 TEL 23・5334
- モンゴル楽器の演奏・歌を交え、「モンゴルのいま」をお話します。
 - 日時 2月16日(日)午後1時30分～3時
 - 場所 中央公民館
 - 演題／講師 「草原の風に吹かれて」／佐々木ハスゲレル氏(内モンゴル出身、飯田市在住)
 - 定員 先着150名
 - 参加費 無料(申込不要)
 - 詳細 上田市多文化共生推進協会(AMU・TEL 25・2631)へ。

異文化理解講演会

ようこそ市長室へ

1月に訪問された方の中から紹介します。

第16回全国小学生
クロスカントリーリレー
研修大会出場報告 腰越JSC

YouTube



動画はこちらから

「第16回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会(12月8日開催)」に出場し、1位と同タイムながら、着順に



より惜しくも第2位となった腰越JSCが、1月7日、母袋市長を表敬訪問しました。

4区を走った片桐陽和さんは、「練習どおりの走りが出てよかった。いい思い出になった」、アンカーの菊池洸希さんは、「優勝できなかった事は悔しいが、全国大会という舞台で走れてよかった」とそれぞれの感想を話しました。

市長は、「よく頑張りました。これからもスポーツ、勉強ともに頑張り、素晴らしい人生を歩んでほしい」と、激励しました。

催し

信州上田地域
合同企業ガイダンス

- 問** 市雇用促進室 TEL 24・7363
- 日時 2月14日(金)午後1時～4時
 - 場所 上田東急イン3階
 - 対象 平成27年3月に大学・短大・専門学校・高専を卒業予定の学生
 - 参加費 無料(申込不要)
 - 詳細 上田職業安定協会(TEL 22・4500)、またはハローワーク上田(TEL 23・8609)へ。

うえだ人権
フェスティバル

- 日時 2月22日(土)・23日(日)午前10時～午後4時30分(23日は午後3時～)

盲導犬歩行体験会と
便利グッズ展示会

- 問** 市生涯学習課 TEL 23・6370
- 日時 3月8日(土)午後1時～4時
 - 場所 上田駅前ビル・パレオ2階会議室
 - 内容 盲導犬歩行体験、および視覚障がい者用品展示
 - 対象 視覚障がい者
 - 定員 先着10名
 - 参加費 200円(保険代)
 - 申し込み 2月28日(金)までに、電話で左記へ。
 - 点字図書館 TEL 22・1975

ささらの湯
立春民謡ショー

- 問** 市生涯学習課 TEL 23・6370
- 日時 2月14日(金)午後0時30分～
 - 場所 室賀温泉ささらの湯大広間特設ステージ
 - 出演 尺八／米谷文童氏、三味線・唄／藤本美次氏、藤本純栄次氏、藤本詞桜次氏、太田孝儀氏、踊り

市 上田市役所 tel.22・4100(代) fax.25・4100(代) 丸 丸子地域自治センター tel.42・3100(代) fax.43・3666(代)
 市 真田地域自治センター tel.72・2200(代) fax.72・4140(代) 武 武石地域自治センター tel.85・2311(代) fax.85・2313(代)

／鳳千勘翠氏
 ほうせんかんすい

- 参加費 無料(別途入館料が必要)
- 詳細 室賀温泉ささらの湯
 (TEL 31・1126)へ。

問 市農政課 TEL 23・5112

親の老いと死に向き合う 哲学カフェ

親の老い、自分の老い、後悔しない
 さいごの迎え方など、自分らしく生
 きることに考えてみませんか。

● 日時 3月1日(土)午前10時～正午

● 場所 カフェ&ギャラリー Saan
 (アザレアンさなだ内)

● 内容 田中文字氏(アザレアンさ
 なだ研修担当マネージャー)の講
 話、意見交換

● 対象 どなたでも

● 定員 先着20名

● 受講料 500円(茶菓子代)

● 申し込み 2月21日(金)までに、電
 話で左記へ。

問 市人権男女共同参画課
 TEL 23・5245

講座・教室

平成25年度農業経営講座

● 日時 ①2月26日(水)、②3月6日
 (木)・③13日(木)の午後6時30分～8
 時

● 場所 上田駅前ビル・パレオ2階
 会議室

● 内容 ①6次産業化とは?、②加
 工・レストラン型の農業ビジネス、
 ③独立経営に必要なこと

● 受講料 無料

● 持ち物 筆記用具

● 申し込み 各開催日の4日前まで
 に、FAX(23・5982)、また
 は電話で左記へ。

問 市農政課 TEL 23・5122

信州上田医療センター 第86回市民公開講座

● 日時 2月8日(土)午後1時30分～
 2時30分

● 場所 信州上田医療センター研修
 センター3階講堂

● 演題 「抗がん剤との付き合い方
 と痛み止めの話」

● 受講料 無料(駐車場無料、予約
 不要)

● 詳細 信州上田医療センター
 (TEL 22・1890)へ。

問 市健康推進課 TEL 28・7124

第4回信州外科医療 市民公開講座

外科手術用器械の展示と内視鏡手
 術模擬体験コーナーも併設します。

● 日時 2月15日(土)午後1時30分～
 4時30分(開場0時30分)

● 場所 信州上田医療センター3階

催し／講座・教室

講堂

● 内容 講演1「上田医療センター
 における外科医療」／土屋拓司氏
 (同センター外科医長)、講演2「食
 道・胃がんの現状と治療」／鈴木
 彰氏(信州大学医学部附属病院消
 化器外科医師)、パネルディスカッ
 ション「これからの外科医療」

● 受講料 無料(駐車場無料)

● 申し込み 不要

● 詳細 信州大学医学部地域医療
 推進学講座(TEL 0263・37・
 2548)へ。

問 市健康推進課 TEL 28・7123

冬の小学生体力アップ 大作戦(全3回)

様々なスポーツの基礎となる動き
 (運動神経)を楽しみながら習得しま
 す。

● 日時 2月22日、3月1日・8日
 の土曜日、午後1時30分～3時

● 場所 本原小学校体育館

● 対象 小学1～4年生

● 定員 先着16名

● 受講料 3回で1000円(1回
 400円)

● 持ち物 室内用運動靴、水分補給
 用飲料、タオル、なわとび

● 申し込み 2月8日(土)午前10時以
 降、電話(72・2657)、または
 直接NPO法人さなだスポーツク
 ラブ事務局へ。

問 市教育事務所 TEL 72・2655

募集

長野県民交通災害共済に
加入を

- 加入対象 市内在住者(市内在住者の被扶養者で、大学などで市外に居住している方も加入可)
- 会員期間 4月1日～平成27年3月31日(中途加入は、会費納入翌日から平成27年3月31日まで)
- 会費 1人400円 ※小・中学生は団体加入(会費100円)で、学校を通して申し込みください。
- その他 次の方は申込不要です。
未就学児童、交通・災害遺児、生活保護受給者、身体障がい者(1～3級)、療育手帳所持者、中国残留邦人等生活支援給付対象者、精神障害者保健福祉手帳所持者
- 加入方法 郵送、または自治会から配布される申込書に必要事項を記入し、会費を添えて、自治会(3月中旬頃まで)、生活環境課・各地域自治センター窓口(随時)、または市内の金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局除く)へ。申込書が届かない場合は、左記へ。

問 市生活環境課 TEL 22・4140

県営住宅入居者統一募集

上田市、東御市にある県営住宅の入居者を募集します。

募集

- 募集期間 2月17日(月)～26日(水)の午前9時～午後5時
- 受付場所 住宅供給公社上田管理センター(上田合同庁舎南棟内)
- 抽選会 3月6日(木)午後1時30分～上田合同庁舎南棟2階会議室
- 詳細 2月10日(月)以降、電話、ホームページ(<http://www.avis.ne.jp/njkk/m/>)、または直接左記へ。

問 住宅供給公社上田管理センター
TEL 29・7010

一般バスケットボール
選手権大会参加募集

- 日時 3月1日(土)・2日(日)
- 場所 自然運動公園総合体育館
- 対象 高校生以上で組織されたチーム(高校生は学校単位とし、顧問・指導者が引率のこと)
- 参加費 1チーム5000円
- 申し込み 2月14日(金)までに、上田市バスケットボール協会事務局(池内 TEL 27・4747、メール ike4747@ar.wakwak.com)へ。

問 市スポーツ推進課
TEL 23・6372

生涯学習上田自由塾
平成26年度受講生募集

4月開講の受講生を募集します。年齢制限はありません。119名の講師による235講座。詳細は「受

講生募集カタログ」(公民館・公共施設に配置)、または上田自由塾ホームページをご覧ください。

- 受講期間 1年間(月1～2回。1講座の時間は原則90分)
- 受講料 1回500円(高校生以上。小中学生は300円) ※講座により別途材料費などが必要。
- 申し込み 2月17日(月)～3月7日(金)に、はがき(〒386-0017 踏入2-1-15 池野第2ビル2F)で生涯学習上田自由塾へ。

問 市生涯学習課 TEL 23・6370

退職準備・生きがい
セミナー参加者募集

- 日時 3月4日(火)～6日(木)の午前9時30分～午後3時30分
- 場所 豊殿地域自治センター
- 内容 「これからの働き方と年金」／塚田修氏(特定社会保険労務士)、「植木剪定講習会」(座学と実習)
- 対象 最近退職された方、または退職を間近に控えたおおよね55歳～65歳の方で3日間受講できる方
- 定員 先着30名(参加費無料)
- 申し込み 2月10日(月)～21日(金)に、電話(23・6002)で上田地域シルバー人材センターへ。

問 市高齢者介護課
TEL 23・5131

上田のお宝発見!

市内の国指定文化財を紹介するコーナーです。



平成16年に確認された僧寺南大門跡(南から)写真手前の石の集合が南大門の礎石があった跡。その先に中門・金堂・講堂、そして現在の国分寺が直線的に並んでいます。

古代からの伝統がつながる「信濃国分寺跡」

今年も1月7日・8日には信濃国分寺で八日堂縁日が行われ、大勢の参拝客で賑わいました。信濃国分寺は、天平13(741)年、聖武天皇が国家安泰を祈願し、国(地方)ごとに僧寺、尼寺の建立を全国に命じたことにはじまります。しかし、その造立は思うように進まなかったようで、信濃国分寺も、いつ完成したのか確証は得られていませんが、8世紀後

半にはほぼ完成していたと考えられています。古代国家の崩壊とともに、諸国の国分寺も次第に衰退に向かいます。信濃国分寺でも、10世紀後半頃の争乱のなかで衰退が進んでいきます。一方、寺伝では源頼朝が国分寺再興を命じたと伝え、現在の国分寺では、境内から平安時代の瓦が発見され、室町時代建立の三重塔があることから、平安時代末から鎌倉時代初期にかけて、信濃国分寺が現在地に移転・再興された可能性が高いと思われます。

現在の信濃国分寺は八日堂とも呼ばれますが、これは毎月8日の最勝王経転読という天平創建以来の伝統によるものです。その他、信濃国分寺では、蘇民将来(そみんきやうらい)の伝説が国の無形民俗文化財に選択され、蘇民信仰のもととなる室町時代の「牛頭天王祭文」や江戸時代中頃の縁日の様子を描いた「八日堂縁日図」、江戸時代末の本堂など、多くの指定文化財を伝えています。このように法灯が受け継がれていることは歴史・文化的にも極めて価値が高いものです。

古代信濃国分寺跡の全体像は、未だに解明されていないところも多く、平成14年から少しずつ発掘調査を進めています。平成16年には僧寺南大門跡が、18年には僧寺西門が新たに確認されています。

問 市文化振興課 TEL 23・6361

音楽村少年少女合唱団 新規団員募集

●対象 シニア／小学5年生～高校生、ジュニア／小学2～4年生。未就学児向けのワークショップも開催しています。

●練習日 毎週水曜日午後6時～8時

●場所 信州国際音楽村

●指導 彌勒忠史氏(オペラ歌手)、玉崎真弓氏(声楽家)、小栗華絵氏(伴奏)

●参加費 月額2000円

●申し込み 電話(42・3436)で信州国際音楽村へ。

●問 教育事務所 TEL 42・3147



募集

平成26年度上田市スポーツ少年団 新入団員募集

問 (一財)上田市体育協会事務局 TEL27・9400

◇上田地域合同募集会

- 日時 3月2日(日)午前10時～11時
- 場所 県営上田野球場
- 定員 いずれも先着順。第1希望、第2希望を決めて募集会へお越しください。
- 募集対象 平成26年4月1日現在の新学年

上田地域

種 目	募集対象	定 員
卓 球	小2～高3男女	制限なし
剣 道	中央	小1～高3男女 制限なし
	東	
	南	
	※神科	
	※豊殿	
	※川西	
	※塩田	
ソフトボール	小1～中3男女	30名
ソフトテニス	小3～中3男女	100名
テニス(硬式)	小1～5男女	30名
ミニバスケットボール	小4～6男女	150名
軟式野球	軟式野球	小1～5男女 制限なし
	※塩田少年 野球教室	小3～5男女 (6年生は要相談) 各学年10名
硬式野球	上田リーグ	小1～中2男女
	上田南リーグ	小1～4男子 (千曲川左岸在住) 制限なし
サッカー	サッカー	小2～6男女 各学年15名
	FC東上田	小1～6男女 各学年18名
	上田 ジェンシヤン	小1～6男女 制限なし
	神川FC	小1～6男女 各学年15名
	上田南FC	園児(年長) ～小6男女 各学年20名

丸子地域

種 目	募集対象	定 員
丸子剣道JSC	小1～高3男女	制限なし
軟式野球	長瀬JSC	小1～中3男女
	依田少年野球	小1～6男女 制限なし

真田地域

種 目	募集対象	定 員
真田剣道JSC	小1～中3男女	制限なし

種 目	募集対象	定 員
陸上競技	小1～6男女	100名
器械体操	小1～高3男女	30名
相撲	園児～高3男女	30名
柔道	小1～6男女	50名
空手道	小1～高3男女	30名
合気道	小3～高3男女	30名
少林寺拳法	小1～5男女	20名
武道空手	園児～中3男女	制限なし
レスリング	小1～中3男女	20名
バドミントン	小4～中3男女	15名
ハンドボール	小1～中3男女	50名
ゴルフ	小3～高3男女	20名
ラグビー	小1～中3男女	制限なし
アーチェリー	小4～中3男女	30名
乗馬	小4～高3男女	10名
スキー	小1～中2男女	制限なし
バレー ボール	上田ジュニア	小1～5男子 小1～4女子
	※塩田VBC	小1～6男女
	※バレーボール 上野が丘	小3～中3男女 (神川・豊殿地区在住) 30名
多種目 運動遊び	南ジュニア スポーツクラブ	小1男子 (千曲川左岸在住) 50名
	ちびっこ なんでも	園児(年中) ～小1男女 20名

※印は指導者が独自に募集します(2月上旬に学校で配られる募集案内をご覧ください)。

丸子・真田地域の申し込みは、電話、または直接上田市体育協会へ。

市民の森の利用を促進し、 人のつながる地域をめざします

なるさわはるお
成澤晴夫さん

市民の森は、昭和44年に整備され、わしば山荘を中心に体育館、スケート場、マレットゴルフ場などの施設があります。しかし、現在では利用者が年々減少していることから、豊殿地区振興会では、地域の住民の力で市民の森を活性化させ、もっと多くの人に利用してもらうため、利用促進を図る具体的な活動をするための部会として、昨年5月に「市民の森利用促進委員会」を立ち上げました。

今年度は、イベントをきっかけに、より多くの方に市民の森を知ってもらい、利用してもらえよう、11月2日に「驚場まつり」を初めて開催し、手作り雑貨・小物市、料理の振る舞い、乗馬体験、上田染谷丘高等学校女子ソフトボール班との交流試合など、様々な催しを企画し、地域の内外から1200人以上の方が参加しました。

中でも、手作り雑貨・小物市は、委員会のメンバーの脈を、活かし18の出店があり、大人気で



〈事業の紹介〉

豊殿地区振興会は、平成25年度わがまち魅力アップ応援事業の採択を受け、市民の森利用促進事業に取り組みました。今後は、市民の森の知名度を上げ、より利用しやすく、活発な施設にするための活動に、継続して取り組む予定です。

早々に売り切れになる店もあるなど、賑わいを見せていました。

また、おはぎや混ぜごはんなどの振る舞いでは、よりよい料理を提供し、来場者に喜んでもらえるよう、委員会とイベントに協力する、赤坂食の会、男爵の会などが試食感想会を行い準備した結果、まつり当日は約1400食の料理がすべてなくなり、お土産として持ち帰る参加者もでるほど盛況でした。

振興会副会長で利用促進委員会委員長の成澤晴夫さんは「驚場まつりでは多くの方の協力により成功できたことに感謝します」「自治会内に誰が住んでいるか分からない地域社会になったと言われるように、人と人とのつながりが希薄になっている。行政だけでなく、地域に住む自分たちが市民の森を利用し、活性化することで交流の場を増やし、将来的に若者が住みやすく、人同士のつながりが強い地域を作っていきたい」と、まつりをきっかけに人が集まり、地域内外の交流につながることに手ごたえを感じた様子で、今後の地域の発展に思いを寄せていました。



わがまち魅力アップ応援事業を紹介するコーナーです。

丸子図書館

TEL42・2414

丸子図書館「おはなし会」

「キャンディ ぼけっと」の皆さんによる、大型絵本などを予定しています。

日 時 2月15日(土)10:30～

参加費 無料 **申し込み** 不要

真田図書館

TEL72・8080

真田図書館「おはなし広場」

「たまたて箱」の皆さんによるパネルシアターを行います。

日 時 2月15日(土)10:30～11:00

参加費 無料 **申し込み** 不要

第5回真田塾

地域の自然や文化、歴史などを知り、地域の魅力について学びます。

日 時 3月8日(土)14:00～16:00

演 題 宝永の差出帳と真田町の歴史

講 師 堀内泰氏(郷土史研究家)

定 員 先着50名 **参加費** 無料

申し込み 2月12日(水)以降、電話で。

中央公民館

TEL22・0760

公文書・古文書の保存と活用を考えるフォーラム

古文書保存・活用について、史料整理者、行政関係者を交えて発表、討論を行います。

日 時 2月19日(水)13:30～16:00

内 容 ①史料整理者、古文書個人所有者、行政関係者発表(13:40～)
②質疑討論(15:10～)

参加費 無料

詳 細 上田・東御・小県地域史連絡協議会(宮澤:TEL090・4138・4703)へ。

神川地区公民館

TEL25・1682

「花寿し」でひな祭り

託児付料理教室です。

日 時 2月20日(木)10:00～13:00

内 容 きれい、かわいい、おいしい、花寿しを作ります。

対 象 子育て中のお母さん・孫育て中のおばあちゃん

定 員 先着15名

参加費 100円(別途材料費700円)

持ち物 エプロン、バンダナ、巻きす

申し込み 2月12日(水)9:00～16:00に、電話で。

塩田公民館

TEL38・6883

子育て支援講演会

「メディアに頼らない暮らし」

日 時 2月8日(土)10:00～12:00

講 師 中島澄枝氏(NPO名古屋コダーイセンター理事)

定 員 先着40名 **参加費** 100円

申し込み 2月7日(金)までに、電話、または直接窓口へ。

その他 お子さんといっしょに聴講できます。

ひとまちげんき・健康プラザうえだ

第6回ひきこもり家族教室

相手も自分も大切にするコミュニケーション方法を学びます。

日 時 2月24日(月)14:00～16:00(受付13:30)

内 容 ①講演「アサーショントレーニング」

／塚越洋子氏

(子どもサポートうえだ心理相談員)

②グループワーク

対 象 市民 **参加費** 無料

申し込み 2月21日(金)までに、電話で健康推進課(TEL23・8244)へ。

ひとり親家庭対象イベント

ひとり親家庭の交流とリフレッシュのためのイベントです。

日 時 ①3月2日(日)・②8日(土)10:00～12:00

内 容 ①親子で楽しむかおり会

(ハーブティーを楽しみながら、香玉を作成)

②ニュースポーツを楽しもう!

対 象 市内在住のひとり親家庭で、子どもが18歳以下の親子

定 員 ①15組程度、②20組程度

参加費 ①一組100円(作成した香玉は持ち帰り可)

②一組300円(参加賞含む)

持ち物 ①なし、②室内履き

申し込み 電話で、子育て・子育て支援課(TEL23・5106)へ。

上田情報ライブラリー

TEL29・0210

ひなまつりフラワーアレンジ講習会

男雛、女雛に見立てた一対のフラワーアレンジを作ります。親子、姉妹、友だちとでも、もちろん一人で作っても楽しいひなまつりのアレンジメント作りの講習会です。

- 日 時** 2月23日(日)13:30～15:00
- 場 所** 上田駅前ビル・パレオ 2階会議室
- 講 師** 関口篤佳氏(勅使河原和風会・青い鳥主宰)
- 定 員** 先着20組(一人での参加も可)
- 参加費** 2,000円(材料費含む)
- 持ち物** 花ばさみ、エプロン、作品を持ち帰る袋、ゴミ袋
- 申し込み** 2月7日(金)～20日(木)に、電話で。

Edoワールドへようこそ！城下町上田見聞録

江戸時代の城下町上田のありさまを絵図や道中記によって明らかにしていきます。

- 日 時** 3月5日(木)13:30～15:00
- 演 題** 城下町上田をゆく 海野町の巻・巻の三
- 講 師** 尾崎行也氏(上田社会教育大学講師)
- 定 員** 先着36名
- 参加費** 無料
- 申し込み** 2月10日(月)以降、電話で。

マルチメディア情報センター

TEL39・1000

URL <http://www.umic.jp/>

Linux入門講座

コマンド操作を主とした本格的なLinuxの入門講座です。Linuxを正しく理解し、操作するための基礎的な知識を学びます。

- 日 時** 3月2日・9日・16日・23日の日曜日、9:30～12:00
- 対 象** パソコン経験者
- 定 員** 先着10名(最小催行人数5名)
- 受講料** 4,000円
- 申し込み** 2月9日(日)～3月1日(月)に、電話で。

デジカメ写真で作品づくり

デジカメ写真をパソコンで簡単に写真加工を行う講座です。簡単に修正・加工などを行い、写真で動画を作成します。

- 日 時** 3月3日(月)13:30～16:00
- 対 象** パソコン経験者
- 定 員** 先着20名(最小催行人数5名)
- 受講料** 1,500円
- 申し込み** 2月8日(土)～3月2日(日)に、電話で。

Excel初心者ゆっくり講座3日間コース[Excel2013使用]

『Excel初心者2日間コース』のセミナー内容を3日間で行います。

- 日 時** 3月13日・20日・27日の木曜日、13:30～16:00
- 対 象** 文字入力のできる方
- 定 員** 先着20名(最小催行人数5名)
- 受講料** 3,500円(別途テキスト代1,260円)
- 申し込み** 2月20日(木)～3月11日(火)に、電話で。

Autodesk 123D Design講座

3Dプリンターのための3Dデータの制作を学ぶ講座です。無償の3D CADソフト「123D Design」を利用します。

- 日 時** 3月15日(土)10:00～16:00
- 対 象** 3Dプリンターに興味があり、Word、Illustratorなどで図形が書ける方
- 定 員** 先着20名(最小催行人数5名)
- 受講料** 4,000円(別途テキスト代2,625円・テキスト「3Dプリンター実用ガイド(日経BP社)」)
- 申し込み** 2月15日(土)～3月14日(金)に、電話で。

市立博物館

TEL22・1274

企画展「上田のひな人形2014」

当館の「ひな人形展」も今年で13回を数えます。今回は寄贈いただいたひな人形を中心に、立雛・次郎左衛門雛・享保雛・古今雛・押絵雛などさまざまな種類のひな人形を展示します。

- 期 間** 2月15日(土)～3月23日(日)※水曜日は休館
- 開館時間** 8:30～17:00(入館は16:30まで)
- 観覧料** 一般250円、高校・大学生180円、小・中学生60円(市内在住の高校生以下は無料)

池波正太郎真田太平記館

TEL28・7100

喫茶・文化講座「インドの伝統医学」健康講座

インドの伝統医学アーユルヴェーダで心と体の健康をセルフチェックしてみませんか。自分自身の体質を知り、日々簡単にできる老化防止・疲労回復に役立つ全身をリラックスさせる方法を学ぶ講座です。

- 日 時** 2月17日(月)13:00～15:00
- 内 容** ①自分の体質チェックシート作成
②オイルを使ってハンドマッサージ
③信州そば粉のガレットとリンゴジャムでティータイム
- 講 師** 浅田佳津美氏(サヴァホリスティックアカデミー講師、健康管理指導員)
- 定 員** 先着30名
- 参加費** 3,000円(チェックシート、テキスト、お茶代含む)
- 持ち物** 筆記用具
- 申し込み** 2月11日(火)までに、電話で。

子どもも大人も元日の朝を新たな気持ちで快走します

第40回丸子地域元旦マラソン

1月1日、丸子地域元旦マラソンが行われました。今年で40回目の開催となり、丸子総合体育館付近を走る丸子会場と丸子北小学校付近を走る丸子北会場を合わせ、過去最多の360人が参加しました。

それぞれの会場では、エントリーを済ませた子どもたちや親子連れ、仲良しグループの大人たちが、体を温めながら知り合いと新年のあいさつを交わしていました。

参加者がスタートすると、日頃からランニングやウォーキングで鍛えた健脚や、親子が並んで走るほのぼのした姿に、沿道から参加者の家族などが声援を送っていました。

丸子会場の1.5kmコースを幼児や親子たちと一緒にゴールした小林泉さん(沢田)は、「自分の父は第1回から毎年参加し、元旦マラソンはとても好きな行事でした。その思いを引き継いで自分も10年以上前から続けて参加しています。いつも元日の朝は晴れて気持ちがいいです」と笑顔で話しました。



四ツ葉スケッチ



真田地域の冬を楽しんで 国内ホームステイ「ふれあい IN SANADA」



岡垣町の男子児童は「真田氏のことが少し分かった。岡垣に戻ったら友だちに話したい」、本原小学校の男子児童は「岡垣の友だちといろんな話ができて良かった」と話していました。

本原小の5年生は、事前に長寿会の方から作り方を教わっていたため、岡垣町の児童を手伝う姿も見られました。

学校交流会では、本原小学校の5年生41人と一緒に、長寿会の方から正月に家の水周りに飾る杓子締めしほりじめの作り方を教わりました。

会の方の案内で信綱寺、長谷寺、真田氏本城跡を訪れて真田氏の歴史を学びました。



福岡県岡垣町の小中学生18人が12月21日から26日までの6日間、真田地域にホームステイに訪れ、ホストファミリーとの交流や上田市長と教育長を表敬訪問、そば打ちや菅平でのスキーを体験しました。





12月20日、武石小学校の1
3年生が、地域の教育ボラ
ンティアの皆さん約30人を講
師に迎え、昔から受け継がれ
ているあそびを教わりまし
た。

風あげ・こままわし・けん
玉・竹馬・かんぼくり・折
り紙・トランプ・花札・お茶
などから、子どもたちは自分
の好きなあそびを選び体験し
ました。折り紙遊びでは、兜
の作り方を教えていただき、
自作の兜を満足そうにかぶっ
ている子どももいました。



武石

武石小学校で伝承遊び

昔のあそびの楽しさを味わってほしい



このコーナーでは、4地域の話題や出来事などを紹介しています。



1月11日、市民の森スケート場まつりに、
家族連れなど市内外から2,000人を超える来場
者がありました。

午前中は、元オリンピック日本代表の神津志
保美さんら3人のゲストによるスピードスケ
ートやフィギアスケートの模範滑走・演技の後、
初心者など3クラスに分かれて講習会を行いま
した。

初級では腕を振る、足をハの字にして止まる
などのコツを教わり「だるまさんが転んだ」で遊
びながら練習し、中級ではフィギアスケートの
簡単なターンやジャンプを教わり、できるよう
になった子どもの姿もありました。

午後は、パイプ椅子押し競走やパン食い競走
といった氷上でのレクリエーションに、あちら
こちらから歓声があがりました。また、温かい
「真田汁」の振舞いや、ご当地キャラも多数参加
し、イベントを盛り上げました。

友だちや家族と参加した坂下輝斗さん(清明
小2年)は、「滑り方を教わって良かった、寒い
けど体はぽかぽかです」と笑顔で話していまし
た。



寒くても、たくさん動いて体はぽかぽか

上田



|上|田|市|民|会|館|



|上|田|創|造|館|



|上|野|が|丘|公|民|館|



|塩|田|公|民|館|





市内 7 か所で晴れやかに！ 平成26年上田市成人式を開催

1月12日、市内7カ所で平成26年上田市成人式が開催され、平成5年4月2日から平成6年4月1日に生まれた新成人1,234人が出席しました。

今年の成人式も、会場ごとに新成人からなる実行委員会により企画・運営され、それぞれの実行委員会が工夫を凝らした式典を開催しました。

振り袖やスーツに身を包んだ新成人は、大人としての新たな一歩を踏み出しました。

|丸|子|文|化|会|館|



|真|田|中|央|公|民|館|

祝 平成26年 上田市成人式



|武|石|公|民|館|





東日本大震災支援チャリティコンサート第100回公演
「復活の笛」コカリナとつたでつむぐコンサートIN上田（2月23日）
記事投稿／東日本大震災被災地支援コカリナ＆音楽プロジェクトうえだ実行委員会

「私たちが忘れないで欲しい」。昨年、宮城県東松島市の仮設住宅を訪ねたときの、おばあさんの言葉です。震災復興支援について「私たちはもつと重く受け止めないといけないのかもしれない」と、肝に銘じながら、100回目の支援コンサートの準備をしています。

コカリナ奏者黒坂黒太郎さんの呼びかけで、震災直後から、「被災した子どもたちのために」を合い言葉に、全国のコカリナ仲間や賛同者とともに支援コンサートを展開し、いよいよ100回目、再びこの上田で開催されることになりました。

コカリナは、まさに「復活の笛」です。オリンピック道路建設で伐採された木、広島島の被爆樹、奇跡の一本松、石巻門脇小学校の松、山古志小学校の木、そして浦里小学校の校舎など、一度は瀕死の状態にあった多くの木が、その生命力と人々の再生のへ強い願いで蘇り、時間が経てば経つほど新しい時を作り出し、それが一歩前に進む力になっているように感じます。

今回は、黒坂さんを中心に、歌の矢口周美さん、コントラバスの吉田秀さん、ピアノのSHUKUZAWA TATSUROUさんに加え、友情出演のヴァイオリニスト中澤きみ子さん（上田市出身）らが、想いのつまった深みのある音楽を演奏します。また、しなのコカリナアンサンブルとして、30名の子どもたちをはじめ、総勢250名が黒坂さんの指揮で演奏する場面もあります。

このコンサートで、上田市民会館いっぱい皆さまと一緒に復活の音色を楽しみ、復興への願いと応援の想いをいっそう確かめ合えるのではないかと、再びここから一人一人の中で何かが始まるのではないかと、楽しみにしています。



読者通信は、市民の皆さんからの話題提供や投稿でつづるコーナーです。
掲載希望の方は広報情報課（TEL71・8080）までご連絡ください。

ご意見をお寄せください

「広報うえだ」へのご意見・ご要望などをお寄せください。

- ▶ 郵送 〒386・8601 住所不要 上田市広報情報課宛
- ▶ TEL 71・8080 ▶ FAX 23・5241
- ▶ メール koho@city.ueda.nagano.jp
- ▶ 市ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/>

災害や安全・安心に関する情報をいつでも、どこでも

緊急情報はメール配信で

登録は、右の二次元コードをご利用いただくか、次のアドレスに空メールをお送りください。
mail_reg@www.city.ueda.nagano.jp

☎ 広報情報課 TEL71・8080



登録用
二次元コード